

検査部からのお知らせ

第6号

(平成27年3月24日発行)

特殊検査のお知らせ（再案内）

原因不明の異常出血が認められる患者様がおられましたら、至急、検査部長 北島（内線 7735 またはメール kitajima@med.u-toyama.ac.jp）に御連絡ください。

出血性後天性凝固異常症の可能性があります。

がん患者、リウマチ等の膠原病や健常な高齢者に広範皮下出血や筋肉内出血が認められたら、凝固第 VIII 因子、凝固第 XIII 因子、フォンビレブ兰特因子に対する自己抗体が原因となっている可能性があります。検査部では 2 症例分を至急測定できる準備ができています。生命にかかわる重要な疾患ですので早期診断、早期治療が必要です。

方法

- 1) 検査部に連絡。
- 2) まず、検査部に一般凝固検査を依頼（PT, APTT, フィブリノゲン、D ダイマー、FDP）
- 3) 特殊検査（第 VIII 因子活性、第 XIII 因子活性、フォンビレブ兰特因子活性）については検査容器をお渡ししますので再度採血お願いします。必要検体は、①患者血漿、②健常者血漿、③患者血漿：健常者血漿＝1：1 混合（37 度 2 時間保温）の合計 3 検体（各血漿 2.0 mL）で測定まで凍結保存します。採血後は速やかな血漿分離が必要です。

ご不明な点は、検査部外注検査（内線 7740）までお問い合わせ下さい。

外注検査部門からのお知らせ

- 1) 平成 27 年 4 月 1 日（水）より、抗てんかん薬（レベチラセタムおよびルフィナミド）の血中濃度測定検査（LSI メディエンス）を開始致します。
- 2) 平成 27 年 4 月 1 日（水）より、カルシトニン検査（SRL）について、WHO 推奨の国際標準品を用いた non-RIA 試薬へ変更させていただきます。変更に伴い、検査方法、基準値、報告範囲、検体保存温度、その他参考文献を変更させていただきます。なお、基準値はメーカー設定値です。
- 3) 平成 27 年 4 月 1 日（水）より、ヒト癌胎児性フィブロネクチン検査(SRL)について、現試薬販売中止に伴い、新試薬に変更いたします。併せて、採取容器および検体採取方法を変更させていただきます。

4) 平成 27 年 3 月 30 日 (月) より、下記の項目について検査内容が変更になります。

- ① SP-D (検査方法変更)
- ② ループスアンチコアグラント (試薬、基準範囲変更)
- ③ サイログロブリン (試薬、基準範囲変更)
- ④ クロナゼパム (検査方法変更)
- ⑤ デスマグレイン 3 抗体 (検査方法、基準範囲変更)
- ⑥ γ -GTP アイソザイム (検査中止)

検査要項

項目コード	25396
検査項目名	レベチラセタム
検体量	血清 0.3mL (分離剤入り採血管使用不可)
保存方法	凍結
検査方法	LC-MS/MS法
有効治療濃度	(未設定) $\mu\text{g/mL}$
所要日数	3~5日
特定薬剤治療管理料	470点
定 価	5,000円
主な商品名	イーケブラ

検査要項

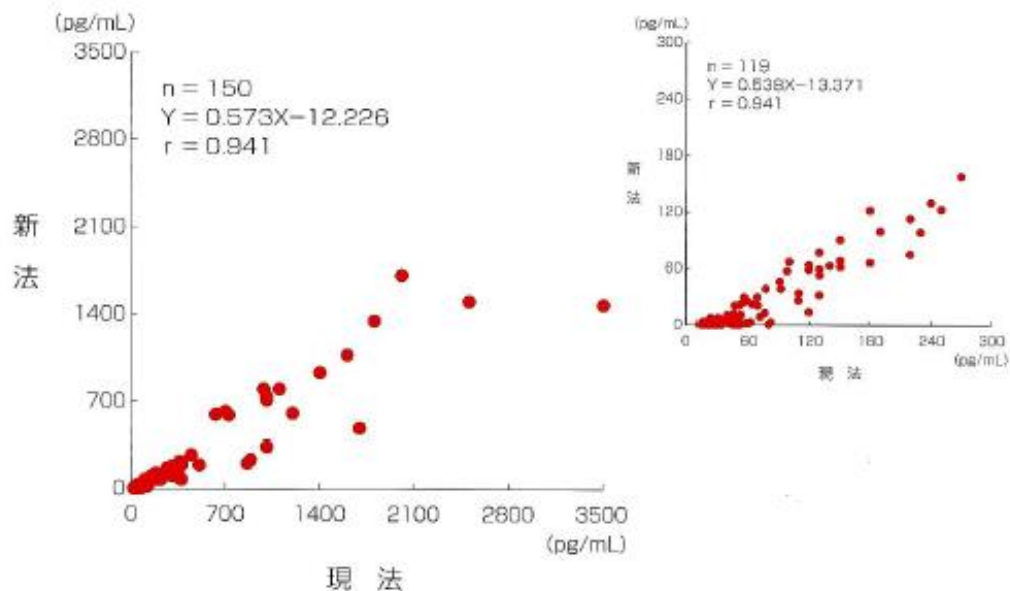
項目コード	25904
検査項目名	ルフィナミド
検体及び保存方法	血清またはEDTA血漿 0.3mL (凍結)
検査方法	LC-MS/MS法
有効治療濃度	(設定なし) $\mu\text{g/mL}$
所要日数	3~5日
管 理 料	470点 (B001-2 特定薬剤治療管理料)
主な商品名	イノベロン [®] 錠
備 考	<p>■検体採取方法について</p> <p>血清の場合： 分離剤入り採血管は使用しないで下さい。測定値が分離剤の影響を受ける場合があります。</p> <p>EDTA血漿の場合： 採血管（容器番号14番）にて採血後、転倒混和により攪拌。さらに遠心にて血球成分と血漿成分を分離後、血漿成分のみを提出用容器（容器番号02番）に移し、凍結の上でご提出下さい。</p> <p>■特定薬剤治療管理料について</p> <p>通知： (1) 特定薬剤治療管理料は、下記のものに対して投与薬剤の血中濃度を測定し、その結果に基づき当該薬剤の投与量を精密に管理した場合、月1回に限り算定する。 イ. てんかん患者であって抗てんかん剤を投与しているもの。</p>

参考文献

- 山内 俊雄, 他: 臨床医薬, 15(8): 1341~1364, 1999.
Perucca E. et al, Epilepsia, 49(7): 1123~1141, 2008.

項目 コード No.	検査項目	変更内容	新	現
0826 4	カルシトニン	検査方法	ECLIA	FIA2抗体法
		基準値 (単位)	男性 9.52以下 女性 6.40以下 (pg/mL)	(総合検査案内参照)
		報告範囲	0.50未満、 0.50~99900000	10以下、10~1600、 1600以上
		保 存	必ず凍結保存してください。	冷蔵保存してください。
		所要日数	2~4日	4~7日
		備 考	速やかに血清分離後、凍結保存 してください。	(記載なし)

▶ 現法と新法の比較



● 新参考文献

北川 亘, 他: 医学と薬学 72(1): 97~108, 2015.(検査方法参考文献)
 岩瀬 克己: 外科治療 105(4): 347~352, 2011.


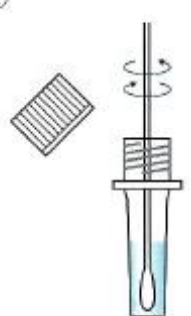


●ヒト癌胎児性フィブロネクチン

▶ 現試薬と新試薬の比較

		現試薬	
		-	+
新試薬	-	28	2
	+	1	23

判定一致率: 84.4% (n=54)

▶ 新容器形状および採取方法

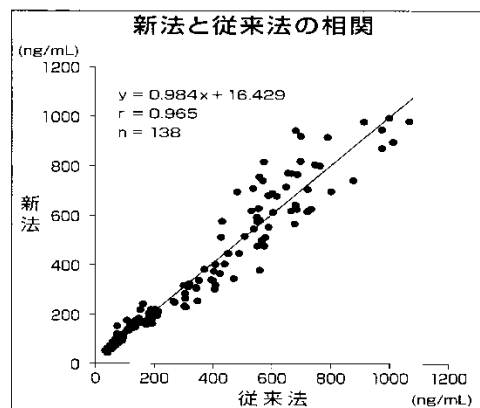
容器形態	検査項目	保存
(W5)	ヒト癌胎児性フィブロネクチン	凍結
	採取方法	
	<p>①</p>  <p>専用綿棒を後蓋円蓋に挿入し、約10秒間回して分泌物を吸収させます。 【ご注意】 検体採取時に無理な力がかかりますと、綿棒が折れる可能性がありますので、十分ご注意ください。</p>	<p>②</p>  <p>検体抽出容器の白色キャップをはずし、分泌液を吸収させた綿棒を浸けて、5回程度綿棒を回します。(この際、容器から液がこぼれないよう注意してください。)</p>
<p>④</p>  <p>検体抽出容器に検体濾過フィルターを取り付けます。</p>	<p>⑤</p>  <p>検体抽出液の全量を検体保存チューブに滴下し、チューブの蓋を締めて必ず凍結保存してください。</p>	<p>●注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検体の採取は洗浄前に行ってください。 ・検体中に精液が混入しているときは、その検体は使用しないでください。 ・検体中に0.1%以上の血液混入が認められた場合、正確な結果が得られない可能性があります。
<p>内容 抽出液 貯蔵方法 室温 有効期間 1年</p>		

● SP-D (肺サーファクタント蛋白D)

測定試薬を従来試薬と同等の性能を有する試薬に変更させていただきます。

なお、この変更に伴い、検体必要量、所要日数、検査方法を変更させていただきます。

	新	従来
依頼コードNo.	9423	同左
検査項目名	SP-D(肺サーファクタント蛋白D)	同左
統一コード	3F253-0000-023-052	3F253-0000-023-023
検査材料	血清	同左
検体必要量	0.3mL	0.2mL
容器	B-1→S-1	同左
検体の保存方法	冷蔵	同左
所要日数	2~3	3~5
検査方法	CLEIA法	EIA法
基準値	110.0未満	同左
報告単位	ng/mL	同左
報告桁数	小数第1位	同左
検査実施料/判断料	140点/144点(生化学的検査(I))	同左



自社横試資料

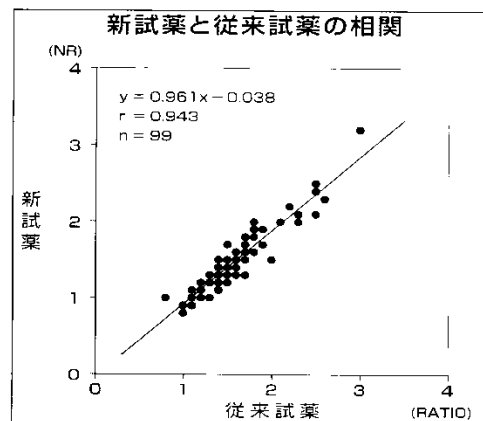
【検査方法の参考文献】

村田 誠, 他: 医学と薬学 71, 2303-2308, 2014.

● ループスアンチコアグラント定量/蛇毒試験

測定試薬を従来試薬と同等の性能を有し、検査精度が向上した試薬に変更させていただきます。
この変更に伴い、依頼コード No.、基準値を変更させていただきます。

依頼コード No.	新 1781	従来 9437
検査項目名	ループスアンチコアグラント定量/蛇毒試験	同左
統一コード	5G501-0000-022-311	同左
検査材料	血漿	同左
検体必要量	0.5mL	同左
容器	B-11→S-1	同左
検体の保存方法	凍結	同左
所要日数	2~4	同左
検査方法	希釈ラッセル蛇毒試験法	同左
基準値	1.2以下	1.3以下
報告単位	なし(NR:Normalized Ratio)	なし(RATIO)
報告桁数	小数第1位	同左
検査実施料/判断料	281点/144点(免疫学的検査)	同左

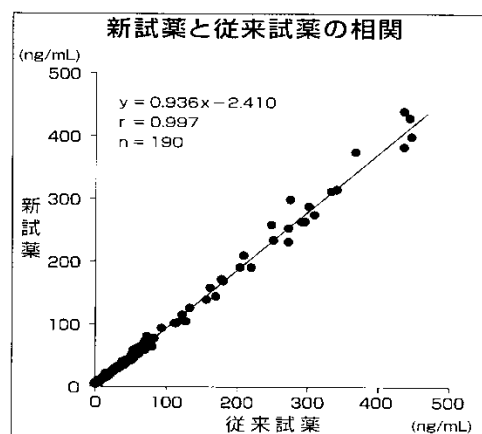


自社検討資料

● サイログロブリン(Tg)

従来試薬販売中止のため性能が向上した同一メーカーの改良試薬に変更させていただきます。
この変更に伴い、依頼コード No.、基準値、報告範囲、報告桁数を変更させていただきます。

	新 659	従来 4443
依頼コード No.		
検査項目名	サイログロブリン(Tg)	同左
統一コード	4B040-0000-023-053	同左
検査材料	血清	同左
検体必要量	0.4mL	同左
容器	B-1→S-1	同左
検体の保存方法	冷蔵	同左
所要日数	2~3	同左
検査方法	ECLIA法	同左
基準値	33.70以下	32.7以下
報告単位	ng/mL	同左
報告範囲	0.04未満~最終値	0.1未満~最終値
報告桁数	小数第2位	小数第1位
検査実施料/判断料	137点/144点(生化学的検査(Ⅱ))	同左



自社検討資料

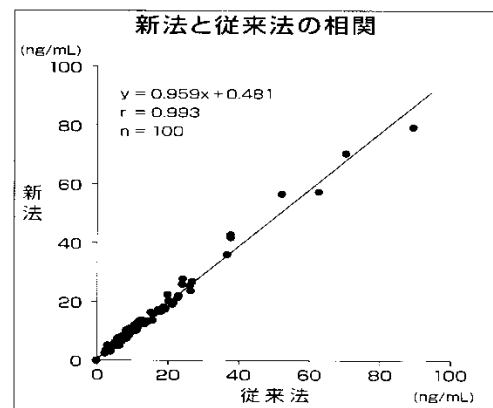
【検査方法の参考文献】

北川三. 他: 医学と薬学 71. 1655-1666. 2014.

● クロナゼパム

測定精度の向上を期し、検査方法を変更させていただきます。
この変更に伴い、検体必要量、所要日数を変更させていただきます。

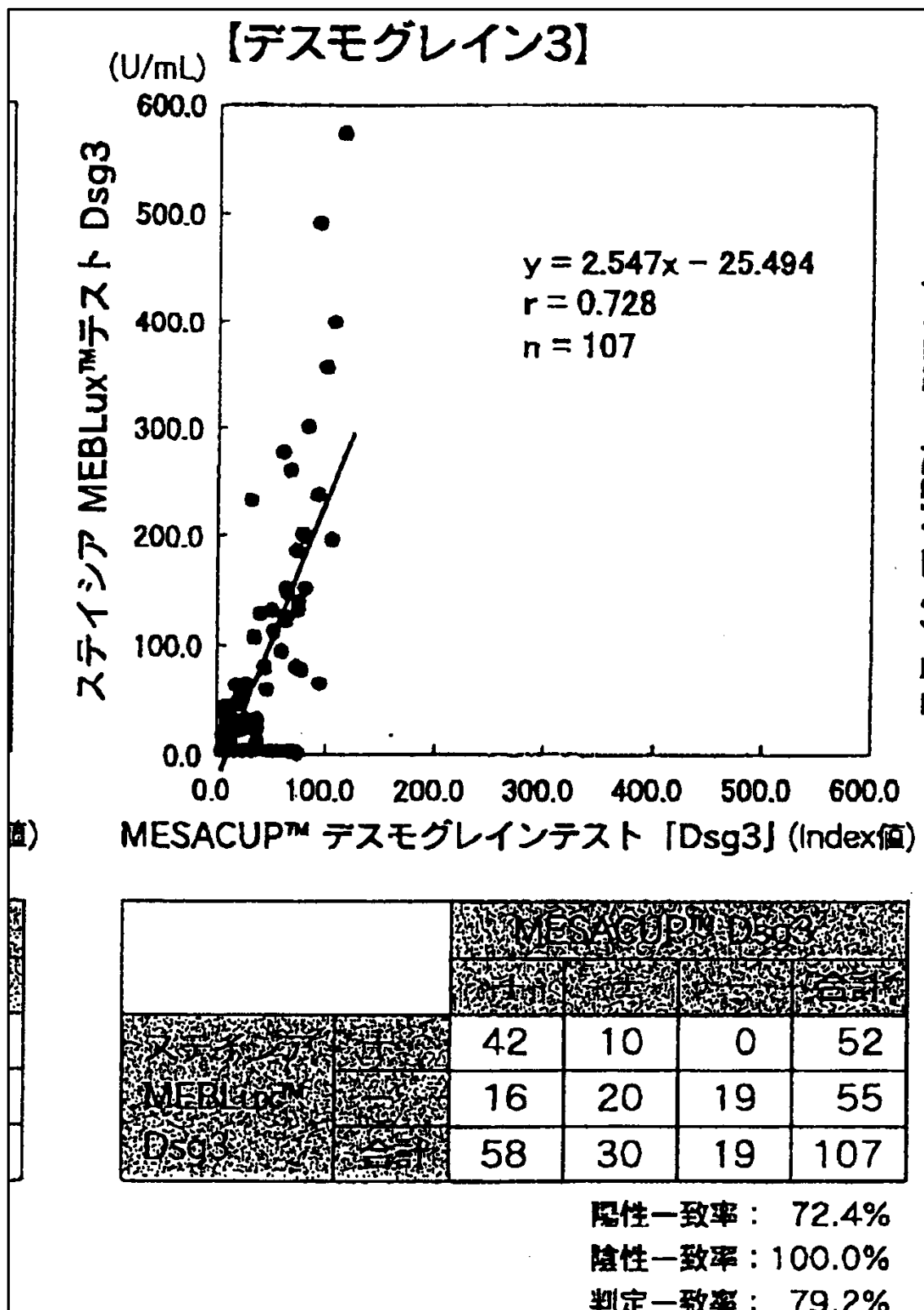
	新	従来
依頼コードNo.	3572	同左
検査項目名	クロナゼパム	同左
統一コード	3L125-0000-023-210	3L125-0000-023-204
検査材料	血清	同左
検体必要量	0.3mL	0.5mL
容器	B-3→S-1	同左
検体の保存方法	凍結	同左
所要日数	3~4	4~5
検査方法	LC-MS/MS法	HPLC法
基準値	治療有効濃度 10.0~70.0	同左
報告単位	ng/mL	同左
報告桁数	小数第1位	同左
保険点数	470点(特定薬剤治療管理料)	同左



自社検討資料

検査方法：EIA → CLEIA 法

基準範囲：7.0 未満 (インデックス値) → 20.0 U/mL



ご不明な点は、検査部外注検査（内線 7740）までお問い合わせ下さい。

検査部からのアンケート

検査部に対するご意見やご要望について、アンケートを行いたいと存じます。自由記載で結構ですから、是非、ご記入いただいて、附属病院2階の検査部受付に回収ボックスがございますので、そちらの方に投函して下さい。どうぞ、よろしくお願い致します。

ご不明な点は、検査部（内線 7737）までお問合せ下さい。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・切り取り線・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

記入欄

発行人 北島 勲
部 署 富山大学附属病院検査部